

# 公益財団法人すみれ学級 平成 30 年度事業報告書

## I すみれ学級開設・運営の基本方針の遵守

### 1 すみれ学級創業の志の持続的発展

現在、わが国では7人に1人が相対的貧困状態にあり、子どもたちを養育する世帯のうち、ひとり親世帯とりわけ母子世帯は2世帯に1世帯が相対的貧困状態の中で生活を余儀なくされているといわれており、子どもやひとり親世帯の貧困が大きな社会問題になっている。

子どもの将来がその子には何らの自己責任がないにもかかわらず、生まれ育った環境によって左右されるような不条理があってはならず、すべての子どもが健やかに育成する環境を整備するとともに教育の機会均等を図ることは、社会全体の責務となっている。

このような状況を深く憂え、日本の未来を担う子供たちの健やかな育成を図るために、子どもたちの「食」の確保と学習支援、居場所づくりや生活相談に応じるため、医療、教育、福祉等の有識者が理事、評議員となって参集し、平成29年5月に一般財団法人すみれ学級を立ち上げたところである。その前年8月に大分市敷戸教室において呱呱の声を上げた「すみれ学級」は、地域の理解と県内の広範な団体、個人のご理解のもと、平成29年8月に大津教室を、平成30年2月に小池原教室を開設し、平成30年4月には、悲願であった公益財団法人の認可を大分県から付与され、大分県内全域で、子ども食堂、子どもの学習支援及び子どもの居場所づくりを進める団体として、着実に事業規模を拡大してきた。

### 2 すみれ学級の全県展開

すみれ学級の拡大前進は、家庭において孤食に耐え、食の確保に苦しみ、家庭学習もままならず、学校教育レベルからの立ち遅れに戸惑う子どもたちとその保護者にとって、ほのかな光りではあるが、市町村、学校当局、地域自治会及び福祉関係篤志家の方々のご協力のもと、平成30年6月には別府市において当法人4番目の教室となる「別府はるかぜ」を開設した。

※別府はるかぜ教室は、社会福祉法人洗心会理事長矢野昌弘氏の全面的協力をいただいて開設できましたことをここに改めて厚くお礼申し上げます。

### 3 すみれ学級のさらなる拡大と質的充実

マスコミ報道等によれば、深刻ないじめによる子どもの自殺が後を絶たず、親や養父母等による虐待件数が戦後最大といわれている今日、絶えず子どもたちに目をむけ、子どもの心身の健康に留意し、子どもとその保護者が社会的に孤立したりひとりぼっちで放棄されたりすることのないよう当法人では新たな事業を展開してきた。

なお、事業によっては、当初計画に計上していないものも含まれているが、子どもの貧困対策は緊急を要する案件であり、家屋の無償提供などの話がある場合はそのつど、事務局に

において真摯に対応し、実現可能と考えられるものは「子どもたちの最善の利益」を図るということを目的に進めてきた。このため、理事、評議員の皆さまには事後報告になったものもありますが、児童福祉の向上という大局的観点からご容赦いただきたくお詫び申し上げます次第です。

### (1) ふれあい子どもカフェの開催

#### ア 野口ふれあい子どもカフェ

平成30年10月から別府市、別府市教育委員会、別府市社会福祉協議会と連携し、野口小学校跡地において、毎週日曜日11時から15時まで、昼食の提供と学習支援を開始したところであり、子どもたちや地域住民から新たな試みとして歓迎されている。

#### イ 大津ふれあい子どもカフェ

すみれ学級2組（大津教室）においても、同様に毎週日曜日11時30分から13時30分まで昼食の提供を行っている。

### (2) 子どもたちの健康と地域からの要望に応じた朝食の提供

すみれ学級3組（小池原教室）においては、登校前の子どもたちに朝食を提供し、発育期の子どもたちの栄養の確保と不登校傾向の子どもたちへの支援としても、学校関係者から感謝されている。

### (3) 別府はるかぜ教室における土曜日の昼食提供

平成30年7月21日から9月3日までの夏休み期間中、毎週土曜日に子どもたちに昼食を提供した。

これは、当該地域の「光の園放課後児童クラブ」からの要望により、土曜日に、放課後児童クラブの子どもたちに昼食を提供できないかという切実な願いに応じて実現したものである。

このことは今後、夏休みなどの長期休暇中における子どもたちの「食」の確保について、重要な示唆を私たちに与えるものと考えている。

### (4) 三重町におけるすみれ学級の開設

豊後大野市三重町の篤志家から駐車場付きの一軒家を無償提供していただけるという貴重な話があり、場所も三重第一小学校から徒歩数分ほどのところという適地であり、当初予算には計上していなかったが、時期を失するとせっかくの好意と機会を無にすることになり、何よりも、大分市、別府市だけではなく、県内一円において子どもたちの貧困に手当てしていくという創業の志に立ってこの話を進め、本年1月15日に開設した。

なお、当面は事業の推移を見極めながら、豊後大野市、同教育委員会、社会福祉協議会、地域自治会及び地域の「しげまさ子ども食堂」などと連携して、内容を充実させていきたい。

### (5) 女子児童に対する生理用品の無料配布

人間は生きていくうえで尊厳を失ってはならない。食べ物が欲しいという欲求は食の尊厳に属するが、女子児童とその家族が生理用品に事欠くということは、それとは別の次元で女性としての尊厳の問題に帰するものと考えられる。

女子児童・生徒の生理用品の欠如に関する我が国の統計は発表されていないが、英国では10人に1人の女性が生理用品が買えていないという報告もあり、わが国では7人に1人が年間可処分所得122万円以下の相対的貧困状態の中で生活していることから推測しても、生理用品の欠如という事実が発生していることが想像される。このことは食の貧困と異なり、「女性の人間としての尊厳」への侵害であり、社会的に看過できないことである。

こうしたことから、すみれ学級では、小学4年生以上の女子児童に対し、生理用品の無料配布を始めている。昨年12月からは、生理用品の企画・販売会社から寄贈していただき、感謝申しあげる次第です。

## (6) 子どもたちの歯科衛生の徹底

すみれ学級における食事後の歯磨きについては、かねて懸案となっていたが、歯科ドクターから、ぜひ食後の歯磨き指導をしていただきたいという強い希望があり、当法人としても、これに取り組むこととし、大分県歯科医師会及び大分県歯科衛生士会に協力を依頼したところ、快諾をいただいた。

しかしながら、各教室に歯磨きを行う手洗い場が確保できないことから、本年度は、歯科衛生士さんによる各教室巡回の「正しい歯磨き指導」を行っていただいた。なお、趣旨に賛同いただいた歯ブラシメーカーから子ども用歯ブラシを無償提供いただいたところである。

## (7) すみれ学級1組における大分大学経済学部学生による進学指導の開始及び大分大学経済学部との連携の継続

### ア 大分大学経済学部学生による進学指導

1組において、中学生を対象とした進学指導を昨年11月から開始したところである。木曜日と土曜日の週2回、大分大学経済学部学生によるマンツーマン指導を基本として、公立高等学校入学を目指しています。今日の格差社会の拡大は、貧困の中で教育の格差となって現れ、再生産されていると指摘されている。この対策は高等学校の無償化などの政策の一部現れているが、学習塾などの教育費は相対的貧困家庭においても非常に重い負担であり、当法人において学習支援の一環として、公立高校入学を目指したマンツーマン指導を実施しているところである。公立高校入学は、子どもたちにとっても保護者にとっても大きな意味をもつ人生の一大転機になるものと考えている。指導する学生も熱気にあふれており、すみれ学級から公立高校へという筋道をぜひ実現させていきたいと考えている。

### イ 大分大学経済学部との連携協定の継続

本協定は、平成29年5月に締結され、大分大学経済学部の授業で、現実の地域社会における社会的課題を現場体験や地域交流を通じて発見、認識し、課題解決に取り組み、すみれ学級1組をその場として提供するというものである。この連携協定により、本年度も多くの学生がすみれ学級1組に来ました。

## (8) 子どもたちの安全面への配慮

子どもは国の宝であり、地域社会の力の源泉である。当法人では、設立当初から子どもたちの通学時の安全管理、食事におけるアレルギー対策や感染症対策に力を入れてきたところである。

現在、すべての子どもに防犯ベルを持たせているが、可能な限りの集団登下校、保護者による送迎などを実施するとともに、調理員の定期検便、インフルエンザ予防接種の無料実施などを行っているところである。また、不慮の事故等に対する傷害保険への加入のほか、食物アレルギーに対しては保護者に十分な聞き取りを行っており、させていただきます。幸いにもこれまで食物事故などは起こしていないが、引き続き気を緩めることなく、考えられる対策はすべて講じていきたい。

## II 平成 30 年度すみれ学級の活動実績

平成 30 年度すみれ学級の活動実績はつぎのとおりです。

### (1) 平成 30 年度すみれ学級 集計 開催日数、参加者数

		開催日数	参加者数	備考
1組	敷戸教室 (夕食)	144	2,340	
〃	進学教室	38	101	食事はありません
2組	大津教室 (夕食)	141	741	
〃	ふれあい子どもカフェ (昼食)	32	151	
3組	小池原教室 (夕食)	141	1,877	
〃	小池原教室 (朝食)	113	818	
4組	別府はるかぜ教室 (夕食)	117	1,105	
〃	ふれあい子どもカフェ (昼食)	27	214	
5組	三重教室 (朝食)	52	578	
合計		805	7,925	

### (2) 2018 年度 すみれ学級 概要

#### ◆すみれ学級 1 組 (敷戸教室)

- ・開催場所 : 大分市敷戸西町 1182-298
- ・開設日 : 2016 年 8 月
- ・開催日時・開催内容・開催日数・食事提供数 (進学教室では食事はないので参加者数を表示)

開催日	開催時間	開催内容	開催日数	提供食事数
月・水・金の週 3 回	17:00~20:00	夕食の提供と学習支援	144 日	2,340 食

木・土の週 2 回	17:00~20:00	中学生対象の進学教室	38 日	参加者 101 人
-----------	-------------	------------	------	-----------

- 開設当初小学 6 年生が、今では中学 3 年生。
- 参加者が増え受験に向けて熱心に勉強しています。

・スタッフ

	人数	備 考
調理・生活指導員	3 名	
学習指導員	1 2 名	大分大学経済学部学生 9 名、社会人 3 名



(進学教室では丁寧な個別指導を実施)

毎月行われる誕生会は「カレーの日」

食事後のケーキをみんなが楽しみにしています。

- クリスマスパティーでは、大学生がいろいろと企画しビンゴゲームで毎年盛り上がっています。



## ◆すみれ学級 2 組 (大津教室)

- ・開催場所 : 大分市大津 1-3-11
- ・開設日 : 2017 年 9 月 1 日
- ・開催日時・開催内容・開催日数・食事提供数

開催日	開催時間	開催内容	開催日数	提供食事数
月・水・金の週 3 回	17:00~20:00	夕食の提供と学習支援	141 日	741 食
毎週日曜日 (こどもカフェ)	11:30~13:00	昼食の提供	32 日	151 食
		合 計	173 日	892 食

昨年 7 月に行った「こどもカフェ」以来の女の子 (小 3) が多く、特に水曜日は大賑わいです。

(クリスマスパーティーには 19 名が参加)

・スタッフ

	人数
調理・生活指導員	2 名
学習指導員 (社会人)	1 名

- 年末にはクリスマスパーティー、年始にはお餅つきが恒例行事です。



## ◆すみれ学級 3 組 (小池原教室)

- ・開催場所 : 大分市小池原団地集会場
- ・開設日 : 2018 年 2 月 1 日
- ・開催日時・開催内容・開催日数・食事提供数

開催日	開催時間	開催内容	開催日数	提供食事数
月・水・金の週 3 回	17:00~20:00	夕食の提供と学習支援	141 日	1,877 食

火・木・土の週3回	6:00~8:00	朝食の提供	113日	818食
		合計	254日	2,695食

□ スタッフは、中学生から「朝練がある」といわれると、朝6時前には食事ができるよう準備しています。

□ 朝食の提供については、TOS 大分放送や大分合同新聞、読売新聞からの取材を受けています。

□ 兄弟姉妹で参加する子が多い。最近では朝食の参加者が夜より多くなっています。

・スタッフ

(女の子たちはいつも仲良く勉強しています。)

	人数	備考
調理・生活指導員	6名	基本は朝食2名、夕食2名
学習指導員	1名	社会人



## ◆すみれ学級4組（別府はるかぜ教室）

・開催場所：別府市鶴見8-5

社会福祉法人 洗心会 別府高齢者ケアセンター はるかぜ内

・開設日：2018年6月1日

・開催日時・開催内容・開催日数・食事提供数

開催日	開催時間	開催内容	開催日数	提供食事数
月・水・金の週3回	17:00~20:00	夕食の提供と学習支援	117日	1105食
夏休みの日曜日		(夏休みの昼食提供)	5日	64食
		合計	122日	1169食

□ 小学生は7つの校区から参加しています。

□ 夜のお迎えはお母さんたちが話し合って交代で行っています。

・スタッフ

	人数	備考
調理・生活指導員	5名	
学習指導員	5名	APU（立命館アジア太平洋大学）の学生、留学生含む

誕生会は子どもたちにとって楽しみですが、はるかぜのご利用者様が  
手作りの誕生カードをこども達から受け取る時にみせる  
満面の笑みが、子どもたちにとってもすごくうれしいようです。



## ◆野口ふれあい子どもカフェ

・開催場所：別府市野口元町12番43号

・開設日：2018年10月7日

・開催日と開催内容 開催日時・開催内容・開催日数・食事提供数

開催日	開催時間	開催内容	開催日数	提供食事数

毎週日曜日	11:00~15:00	昼食の提供と学習支援	22日	150食
-------	-------------	------------	-----	------

(昼食すませて、宿題も済ませます。)

元気な女の子が多く参加しています。

・スタッフ

	人数	備考
調理・生活指導員	2名	1名はヘルスメイトの支援
学習指導員	2名	APU (立命館アジア太平洋大学) の学生、社会人



## ◆すみれ学級5組 (三重教室)

- ・開催場所 : 豊後大野市三重町市場 1509-1
- ・開設日 : 2019年1月15日
- ・開催日時・開催内容・開催日数・食事提供数

開催日	開催時間	開催内容	開催日数	提供食事数
月・火・水・木・金の週5回	6:00~8:00	朝食の提供	52日	578食

- 朝6:30には子供たちが集まり始めます。(現在、小学生のみが参加)
- 小学校はすぐ近くにあるのに、7:00過ぎには小学校へ走っていきます。  
早く校庭でサッカーがしたいようです。

・スタッフ

	人数
調理・生活指導員	6名

- 調理担当2名と生活指導2名が交代で勤務、
- 調理担当と生活指導もローテーションで担当します。



## ◆すみれ学級運営スタッフ

	1組	2組	3組	4組	野口	5組	合計
調理・生活指導員(名)	3	2	6	5	2	6	24
学習指導員(名)	12	1	1	5	2	0	21

(3) 2019年2月アンケートの結果 (児童・生徒と保護者対象)

	アンケート回収数	アンケート配布数
1組 (敷戸教室)	10	18
2組 (大津教室)	6	10
3組 (小池原教室) 7	7	15



4組（別府はるかぜ教室）	15	25
野口子どもカフェ	4	8
<b>合計</b>	<b>42</b>	<b>76</b>
回収率	55%	

## 保護者の意見

- 友達と宿題をしたり、ごはんを食べたり、いっしょに過ごす時間を楽しみにしているようです。家で宿題をするときはダラダラしてしまうときがありますが、すみれで友達といっしょだとわからない所を教えあったりしてはかどるようです。
- 子どもがすみれ学級に行ってから勉強をおしえてもらって成績が良くなりました。喜んで行っているのととても感謝しています
- 勉強を教えてもらったり、毎日皆と楽しくおいしい食事ができて満足しています。子どもも楽しいみたいで本当に良かったです。勉強も頑張るとハリキッテます。
- 苦手な英語に興味を持つようになりました。また、欠席した際、習えなかった数学を教えていただいたことは本当に助かったと息子から聞きましたありがとうございます。
- 残業があるときは助かります。
- 家では年の離れた妹達がいる、うるさくて勉強しにくいと思っています。そんな時にすみれのおかげで勉強で切るところがあって本当に良かったです。
- 宿題の確認がスムーズにできるようになったこと。仕事でゆっくり宿題がみれないので助かります。
- 仕事で帰りが遅くなることがあるのですが、そんなときなどすみれ学級へ行ってくれるのでありがたいです。
- ・早い時間に夕飯が食べれること（家だと遅いので）
  - ・お友達といっしょなので好き嫌いをせずに食べれること。
  - ・共働きで1人っ子なのでお友達や先生と交流できること（家だと1人でテレビを見たりするの、皆で遊べること）。
- 一番最初は、親の仕事の都合で利用させてもらいました。ですが、1回目から姉妹そろってすみれ学級を気に入り、友達と行ける日は毎回参加しています。ご飯もおいしく、帰りはいつも“こんなご飯だった。おいしかった”と教えてくれます。他学年の子や先生方と遊ぶのも楽しいようです。宿題までできて帰れるので本当にありがたいです。

## （４）すみれ学級に対する各種の支援

- （１）すみれ学級で使用する米は基本的に「フードバンクおおいた」様からいただきました。また、多田整形外科医院様からの300kg、別府の内成活性化協議会様からの



60 kgをはじめ多くの団体、個人の方からお米を寄贈していただきました。

- (2) 大阪の朝日電器株式会社様と HI ヒロセ様の共同で、子どもの安全のための防犯ブザーを 100 個寄贈していただきました。
- (3) 大分県交通安全協会様から子どもの安全のために、反射タスキ 120 本を寄贈していただきました。
- (4) 大根、白菜などの野菜もたくさん寄贈していただきました。
- (5) 株式会社 G-Place (旧社名 日本グリーンパックス株式会社) 様から、すみれ学級に通う 4 年生以上の女子児童 40 人のためにナチュラルムーンブランドの生理用品を寄贈していただきました。

これは昨年の 11 月から始まり、今後も毎月、継続されることになっています。

- (6) 書き損じハガキ 2,150 枚が寄せられ、101,215 円の切手に交換することができました。別途切手も 13,306 円寄せられました。